

---

# 国家の存亡をかけて

怠惰なぼっち

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

国家の存亡をかけて

### 【Nコード】

N2900BA

### 【作者名】

怠惰なぼっち

### 【あらすじ】

注意

この物語はフィクションです。作品内の登場人物、地名、場所等は全て架空の物です。予めご了承下さい。  
また作品は中世をモチーフにしています。

## プロローグ

### 注意

この物語はフィクションです。作品内の登場人物、地名、場所等は全て架空の物です。予めご了承下さい。

また作品は中世をモチーフにしています。文章が変になっている所もあると思いますが、温かい目で見てやってください。

昔々、ある国でのお話です

その国は平和な時代が続いていた国でした

国王が死ぬまでは

この小説は、そんな波乱の国の中でも国の、民のために戦い抜く騎士達のお話

## 第1話 誇りある騎士団（前書き）

重要な話の時は話数だけでなくサブタイトルもつけます。

## 第1話 誇りある騎士団

メルディアズ王国はメルデナ王家による統治から1000年以上の歴史を持つ国である。

国王は国民の事を憂い、国内を統治する良き支配者として他国の者でも評判である。

そんな国に生まれた一人の男がいた

「だーから、一次試験受かったんだって!」

「あのなあ、いくらもう歳だからってわしに嘘をつくような真似は...」

「いやいやいやいや、これ見てくれよ!」

その男の手には、確かに一次試験合格の通知があった。

「ね、つーことで、家業は継がなくて良いよね?」

「ダメだ!断つて来い!」

「な、何で!?息子が夢を叶えられるんだぜ?そこは快く...」

「ダメだ!お前が継がなかったら誰がここを継ぐんだ?」

「ユラがいるんだからいいじゃねーか」

「あのおな、武器屋が女に務まるわけがないだろ…」

「お父さん、それは失礼なんじゃない？」

「な！、ユラ、いたのか！？」

「私が武器屋は継ぐからさ、お兄ちゃんにはお兄ちゃんの夢があるんだし」

「さすが俺の妹。話が分かるやつで助かる」

「…そこまで言うなら、認めてやるっ」

「よっしゃー！！！！！！」

「大丈夫なの…？」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2900ba/>

---

国家の存亡をかけて

2012年1月7日15時58分発行